

令和7年度 第1回 地域メディア連携協議会 (説明会・意見交換会)

日時：令和7年6月12日（木） 10：00～11：30

場所：金沢河川国道事務所 2F会議室

(WEB会議システム)

< 議 事 次 第 >

1. 開 会

2. 情 報 提 供

(1) 金沢地方気象台 (資料－1)

- ・最新の3か月予報と洪水予報文の様式変更について

(2) 金沢河川国道事務所

① 河川関係 (資料－2)

- ・水害リスクや防災情報の見方について
- ・手取川梯川流域タイムラインについて

② 道路関係 (資料－3)

- ・昨冬の降雪対応について
- ・大雨による道路の通行止めについて

(3) その他

3. 意 見 交 換

4. 閉 会

令和7年度 第1回地域メディア連携協議会（説明会・意見交換会）出席者名簿

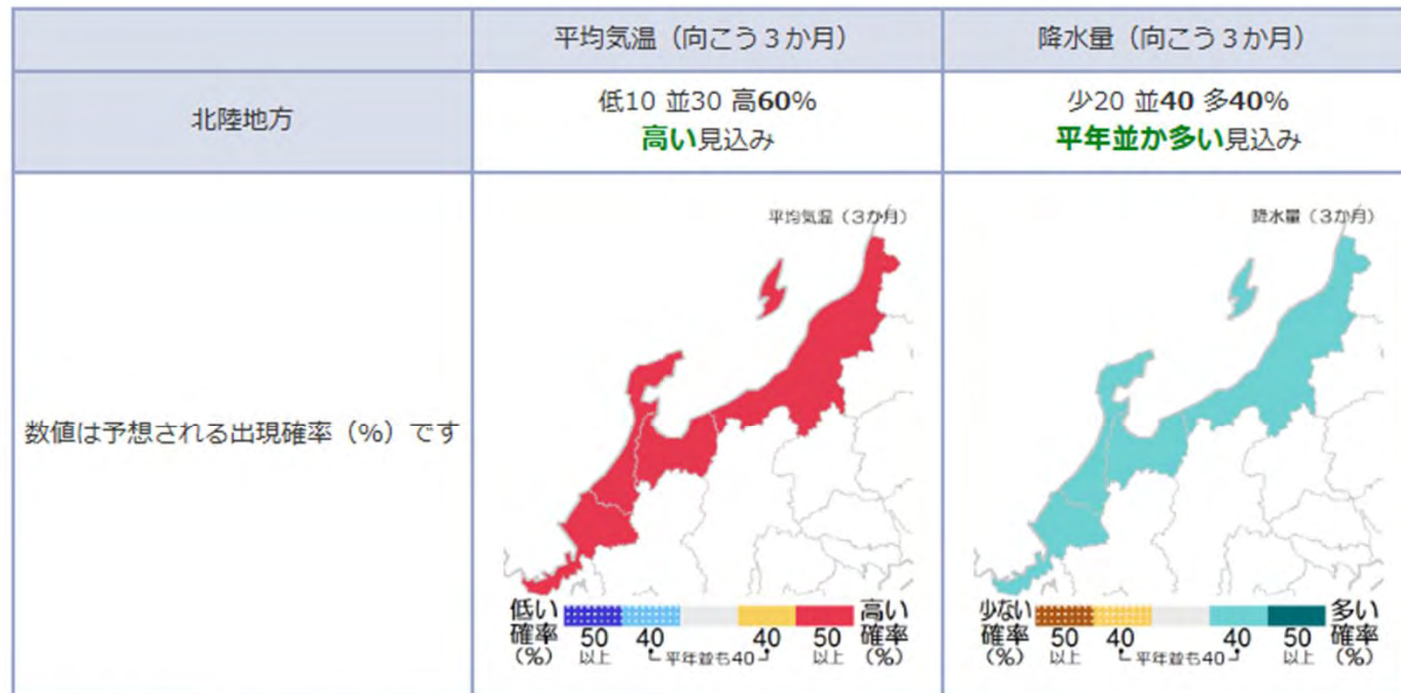
（敬称略）

機関名	部局	役職	氏名	出席方法		備考
				来所	T V 会議	
日本放送協会金沢放送局（NHK）	コンテンツセンター	記者	山 尾 和 宏	○		
日本放送協会金沢放送局（NHK）	コンテンツセンター	気象予報士	池 津 勝 教		○	
北陸放送 株式会社（MRO）	報道部	記者	野 崎 ま ど か	○		
北陸放送 株式会社（MRO）	報道部	デスク	木 村 洸		○	
石川テレビ放送 株式会社（ITC）	報道制作部	副部長	栗 原 一 矢		○	
金沢ケーブル株式会社	放送部		南 洋 行	○		
加賀ケーブル株式会社	業務	業務統括	広 原 誠 治		○	
株式会社エフエム石川	放送営業部	主任	田 町 泰 二		○	
北國新聞社	社会部	副主任	増 川 暢 聡	○		
中日新聞北陸本社	編集局報道部（石川県政クラブ）	県政クラブキャップ	田 嶋 豊	○		
【行政機関】						
金沢地方気象台	防災G	リスクコミュニケーション推進官	丹 下 昭 彦	○		
金沢地方気象台	防災G	水害対策気象官	広 瀬 淳 司	○		
金沢地方気象台	防災G	流域治水対策係長	万 代 呂 浩 之	○		
石川県	土木部河川課	課参事	岡 本 美 由 紀		○	
石川県	土木部砂防課	課参事	塚 本 賢 明		○	
石川県	危機管理部危機対策課	課長補佐	越 野 晃		○	
石川県	危機管理部危機対策課	課長補佐	藤 川 茂 雄		○	
金沢河川国道事務所		事務所長	五 十 川 泰 史	○		冒頭のみ
金沢河川国道事務所		副所長（河川）	九 田 将 茂	○		
金沢河川国道事務所		副所長（道路）	飴 谷 卓 也	○		
金沢河川国道事務所		総括地域防災調整官	澤 原 和 哉	○		
金沢河川国道事務所		総括保全対策官	焼 田 聡	○		
金沢河川国道事務所	流域治水課	流域治水課長	北 村 秀 之	○		
金沢河川国道事務所	道路管理第一課	道路管理第一課長	藤 真 生	○		
金沢河川国道事務所	防災課	防災課長	明 野 光 運	○		

最新の3か月予報と 洪水予報文の様式変更について

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。
- 梅雨前線の影響を受けやすい時期があるため、向こう3か月の降水量は平年並か多いでしょう。



季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/hokuriku3.html>）をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「[参考（確率予報の解説）](#)」をご覧ください。

月別の天候

- 各月ともに、平年と同様の見込み。

6月	• 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	• 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
8月	• 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

北陸地方

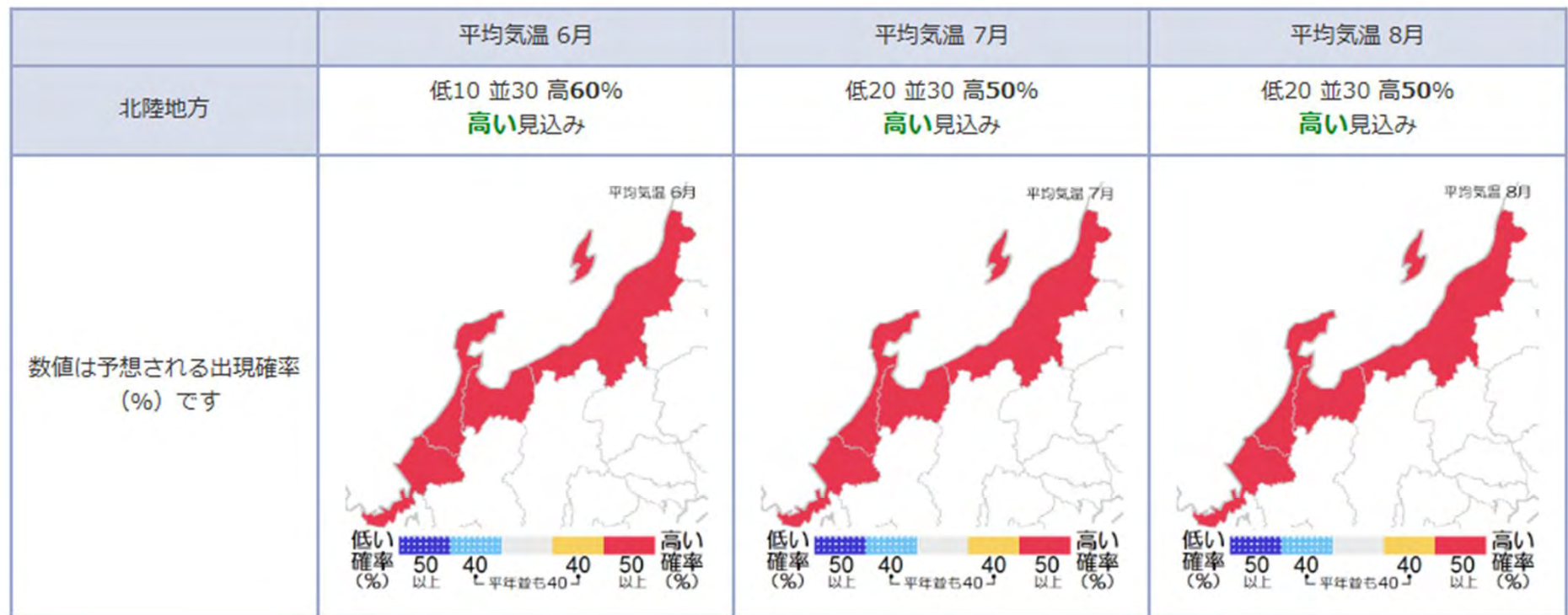
梅雨入り平年：6月11日ごろ

梅雨明け平年：7月23日ごろ

月別の平均気温 北陸地方

月別の気温

暖かい空気に覆われやすいため、各月とも高い見込み。



月別の降水量 北陸地方

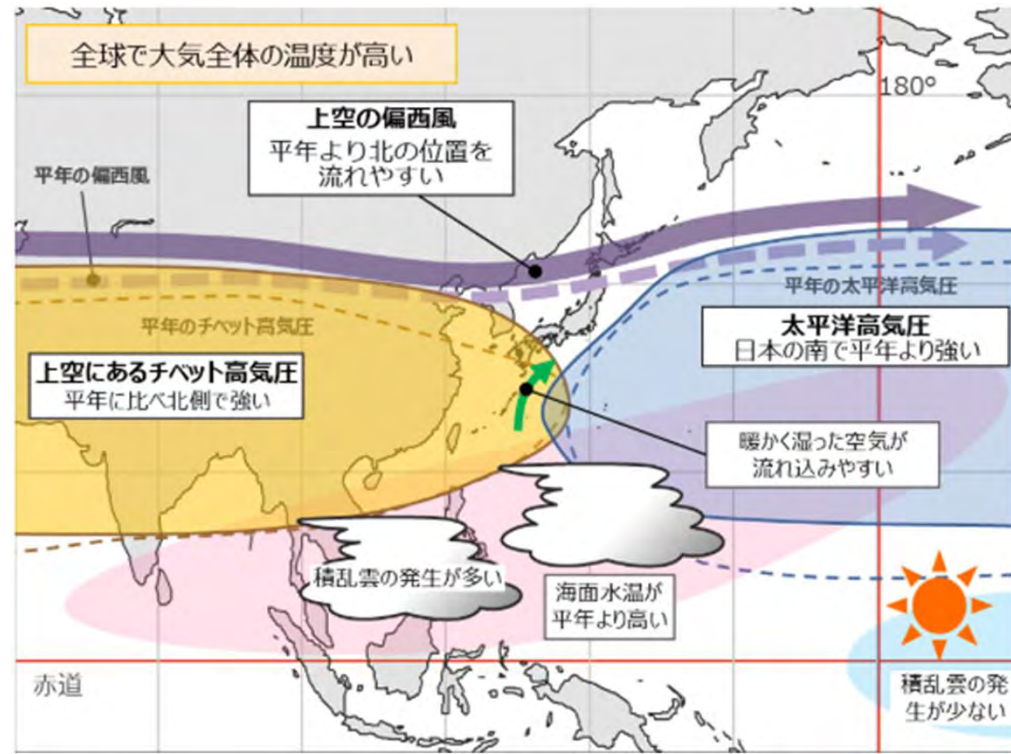
月別の降水量

各月ともに、ほぼ平年並の見込み。

	降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
北陸地方	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	降水量 6月 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 以上 平年並み 40 以上	降水量 7月 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 以上 平年並み 40 以上	降水量 8月 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 以上 平年並み 40 以上

3か月(6～8月)の予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続くでしょう。また、インド洋熱帯域からフィリピンの東方海上にかけて海面水温が高いでしょう。このため、積乱雲の発生はベンガル湾からフィリピンの東にかけて多いでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強いでしょう。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本の南で西への張り出しが強く、**本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすい**でしょう。
- これらのことから、北陸地方は**暖かい空気に覆われやすい**でしょう。また、**梅雨前線の活動が活発となる時期がある**でしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

この期間の注意点等（北陸地方）

- 向こう3か月の気温は、高い見込みです。
十分な熱中症対策など、健康管理に注意してください。
農作物の管理等にも注意が必要です。
- 向こう3か月の降水量は、暖かく湿った空気の影響や梅雨前線の影響を受けやすいため、平年並か多い見込みです。
梅雨前線の活動が活発となる時期がある見込み。
近年は、全国的に梅雨時期などに大雨の発生頻度が増加していますので、最新の気象情報に留意してください。

【命を守るための具体的な準備や行動】

1. **自宅周辺の危険度を確認**（普段からできること、注意報が発表された時）
各市町で土砂災害ハザードマップや洪水・浸水ハザードマップ（名称が違っても）を作成しホームページに掲載しています。各家庭にも配布されていると思いますが、無い場合は、市役所や町役場に行けば貰えると思います。
2. **避難所や避難経路の確認**（普段からできること、注意報が発表された時）
ハザードマップには避難所も掲載されています。自宅から避難所までの避難経路を確認しておく。この時に、危険箇所を避ける。
3. **気象情報の確認**（最大5日前から）
 - ・早期注意情報（警報級の可能性）で〔中〕や〔高〕が予想されているか
 - ・気象情報が発表されていれば内容を確認
 - ・注意報や警報が発表されているか
 - ・キキクル（土砂、洪水、浸水）で自宅周辺に黄色や赤色の表示の確認
4. **市町からの避難指示等**
 - ・自宅が含まれる地区に避難指示が発令され、危険な場所であれば**躊躇することなく安全な場所へ避難**する。
 - ・避難情報が発令されていなくても危険な場合は、避難することを考慮

水位変化を視覚的に捉えやすくなるよう棒グラフから折れ線グラフに変更。
基準観測所ごとに警戒レベル相当を色とともに表示。

水災害リスクや防災情報の見方について

1. 水災害リスクを知る！
2. 現在の状況を知る！

1. 水災害リスクを知る！

- 近年、気候変動の影響による**水災害が激甚化・頻発化**しており、毎年日本各地で洪水や土砂災害が発生しています。
- そのため、それらの**リスクを平常時から知って備えておく**ことが重要です。



- 国土交通省では、これまで洪水ハザードマップのもととなる洪水浸水想定区域図をはじめとして、**様々な水害リスク情報を公表**してきました。



- それでは、**どんな水災害リスク情報**があるのでしょうか？
どのように使えばよいのでしょうか？



知って使おう！ 水災害リスク情報！

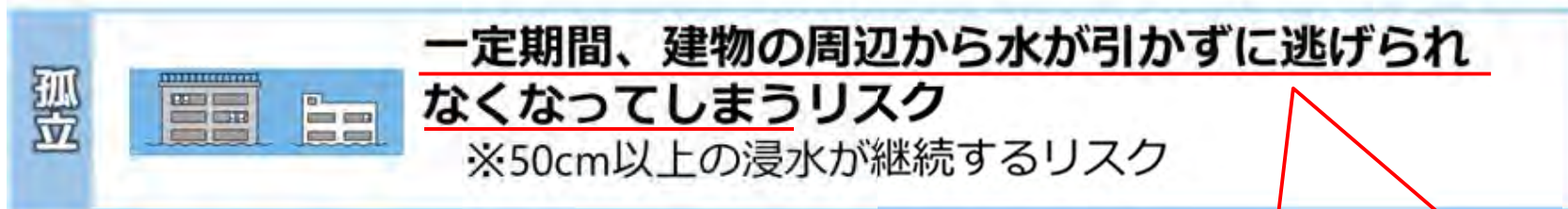
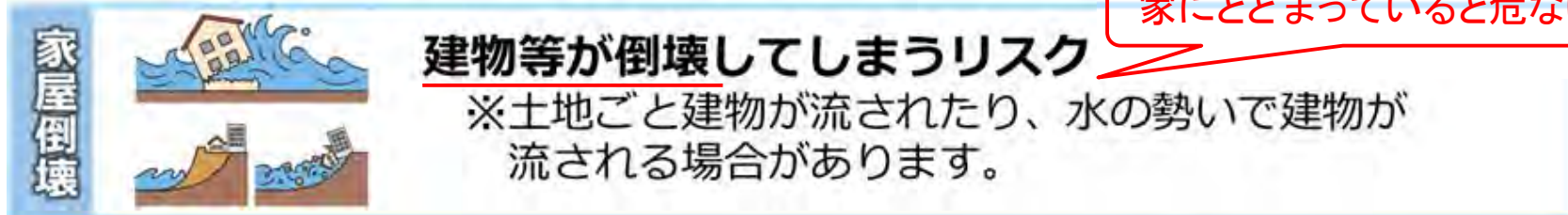
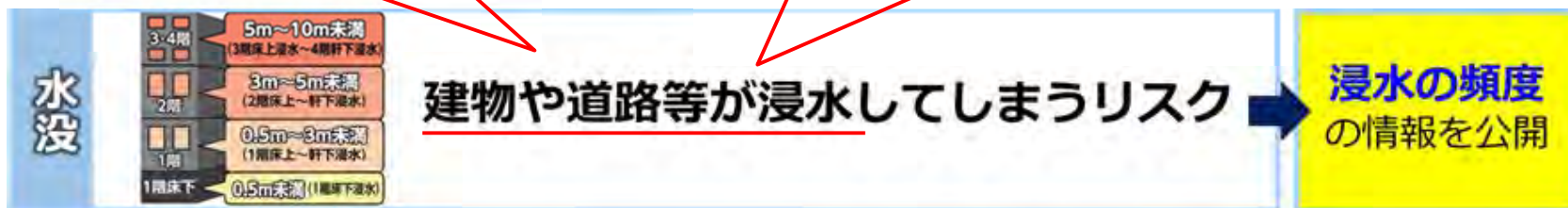
【参考】水災害リスクコミュニケーションポータルサイト

https://www.mlit.go.jp/river/risk_communication/index.html

平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

家のまわりはどのくらい
浸水しちゃうんだろう？

2階まで浸水するの？
だったら、早めに避難しなきゃ！



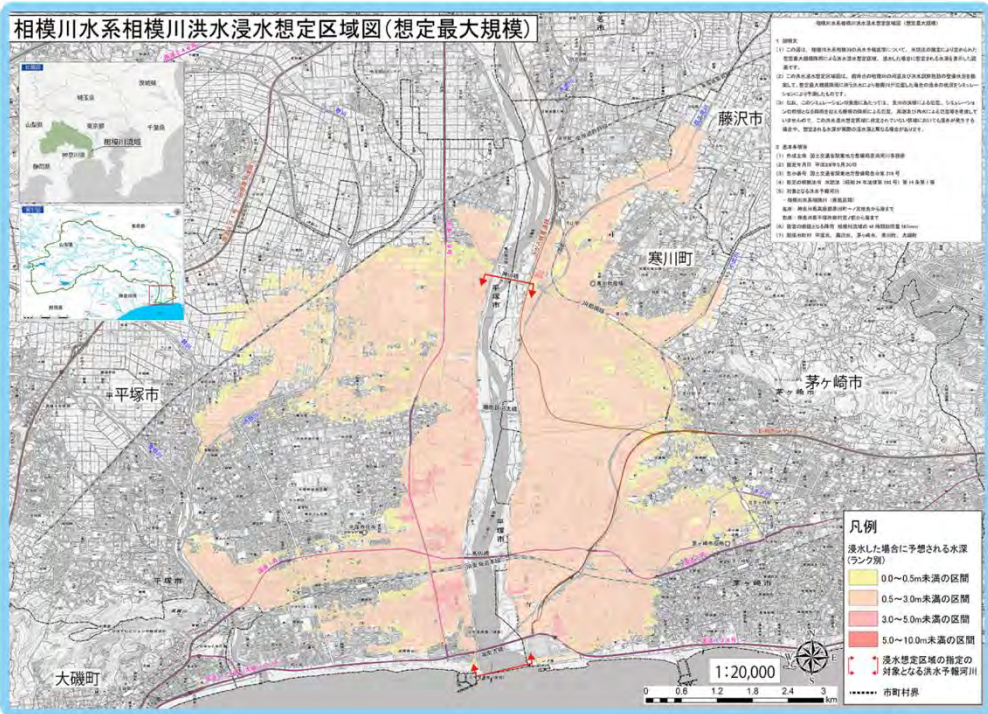
家の周りが水浸しで逃げられない！
どのくらいたてば水が引くの？

- 浸水の範囲や深さが知りたい
- 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所が知りたい
- 浸水で逃げられなくなる時間を知りたい

● 浸水の範囲と深さを知る 避難計画に まちづくりに 住まい方の工夫に 企業の浸水対策や立地選択に

洪水浸水想定区域図
(浸水深・浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域)

想定最大規模の
降雨が対象！



洪水浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の降雨により浸水が想定される区域及び浸水深を示したハザードマップの基となる図です。また、洪水浸水想定区域図では、氾濫流や河岸侵食によって家屋倒壊等のおそれがある家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水継続時間を知ることができます。

ハザードマップポータルサイト
洪水浸水想定区域図
(浸水深・浸水継続時間
家屋倒壊等氾濫想定区域)

○ 地点別・時間別の**詳しい浸水情報**が知りたい

想定最大規模の降雨が対象！

- より詳しい浸水情報を知る
- 避難計画に
- まちづくりに
- 企業の浸水対策や立地選択に
- 学校施設の浸水対策に

地点別・時間別浸水想定区域図・浸水深(浸水ナビ)

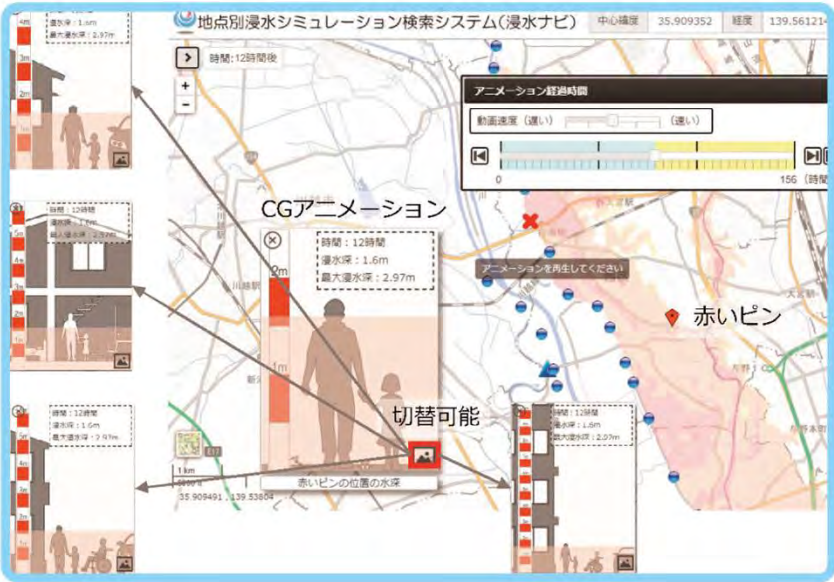
浸水ナビでは、地点別の破堤後の浸水シミュレーショングラフや浸水域のアニメーションを確認できます。また、河川名で想定破堤点を検索することができるとともに、特定の地点・住所・地名から該当地点等に影響を与える想定破堤点を検索することができます。

凡 例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域

× 破堤地点



浸水ナビ

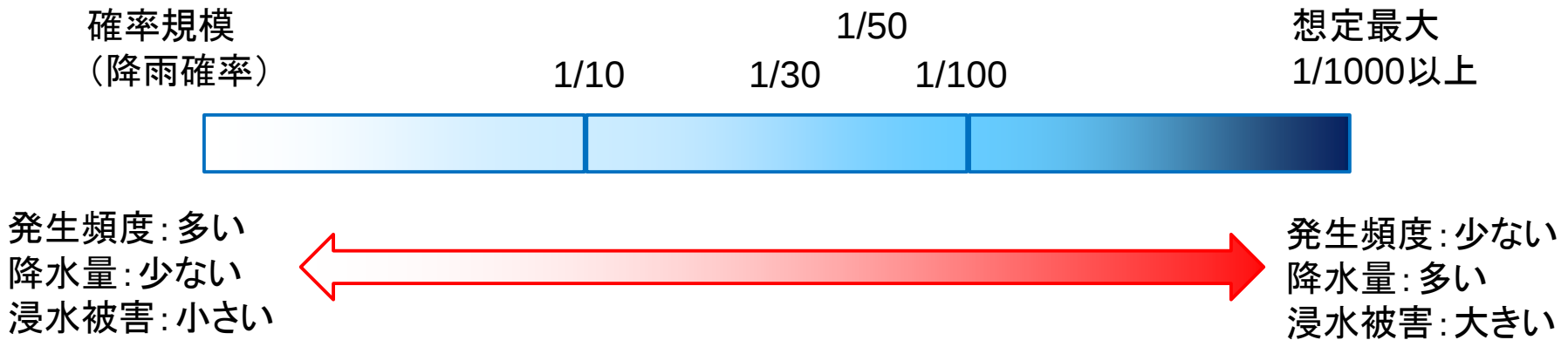
入手先>>

国土交通省

浸水ナビ 検索

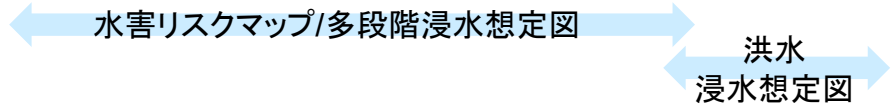
確率規模とは？

確率規模を考えると、分かりやすい例として「100年に1回程度の降雨量」というものがあります。これは100年ごとに1回発生する周期的な降雨ではなく、1年間に発生する確率が1/100 (1.0%) 程度の降雨量になります。毎年の発生確率は小さいですが、規模の大きな降雨量であることを示しています。サイコロを6回振れば、「1」が複数回出ることがあることと同じで、100年の間にその規模を超える降雨量が複数回発生することもあり、また連続して発生することもあります。10年に一度 (1/10) や30年に一度 (1/30) のように確率を重ねて、その頻度の高さを示すことで水害リスクマップは作られています。



表一 確率規模による降雨量の違い

確率降雨	1/10	1/30	1/50	1/100	想定最大
手取川流域 (mm/24h)	188	248	276	316	539
梯川流域 (mm/9h)	102	123	132	145	350



○ 降雨規模別の浸水想定が知りたい

1/10、1/30、1/50、1/100の降雨が対象！

- 浸水の頻度を知る
- まちづくりに
- 住まい方の工夫に
- 企業の浸水対策や立地選択に
- 学校施設の浸水対策に

水害リスクマップ／多段階浸水想定図

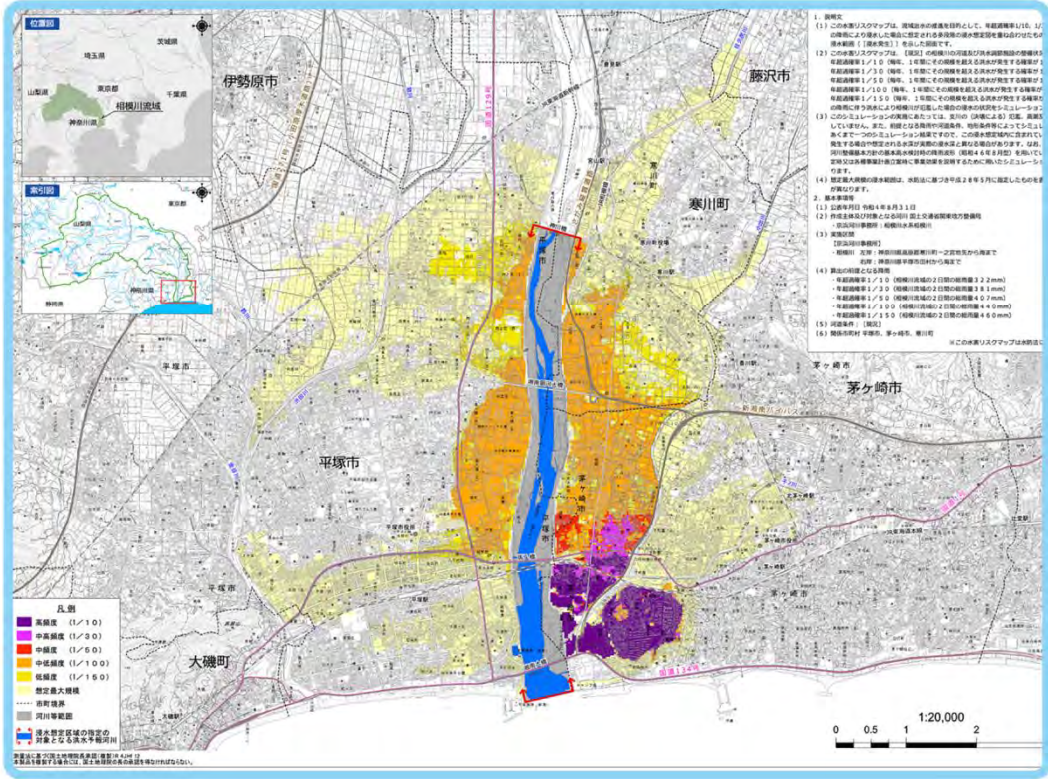
多段階浸水想定図は、比較的発生頻度の高い降雨規模も含め複数の降雨規模毎に想定される浸水範囲と浸水深を示した図です。また、水害リスクマップは、それらを重ね合わせて浸水範囲と浸水頻度の関係を示した図です。中小規模の洪水などの浸水しやすい場所を知ることができます。

水害リスクマップ
多段階浸水想定図

水害リスクマップ 多段階浸水想定図 検索

入手先》

国土交通省

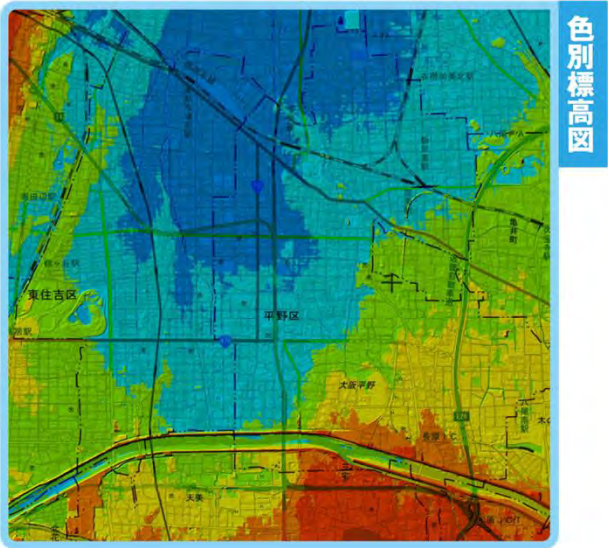
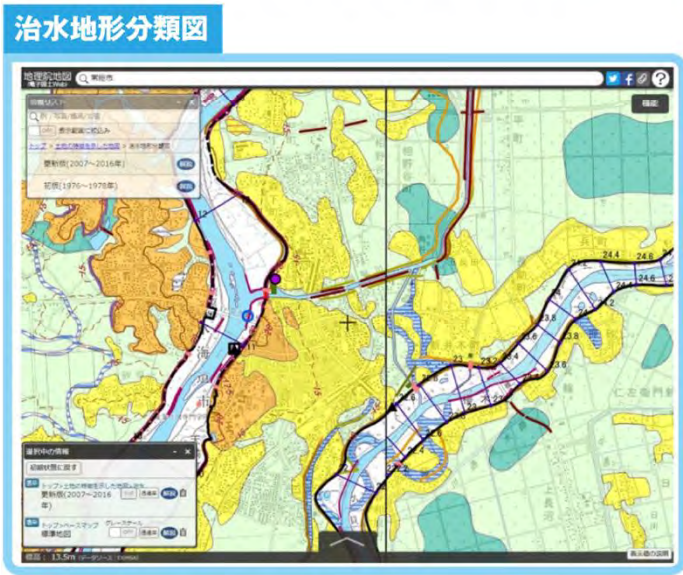


○ 土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい

● 地形や土地の成り立ちから水害リスクを知る まちづくりに 住まい方の工夫に

治水地形分類図／色別標高図

治水地形分類図は、旧河道、湿地、微高地（自然堤防）などの土地の成り立ちを確認することができます。また、色別標高図は、標高の変化を色別に確認することができます。これらを浸水想定区域図や浸水継続時間などと合わせて確認することで、相対的かつ潜在的な水害の危険性を知ることができます。



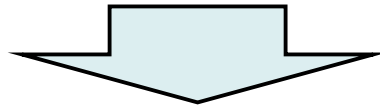
地理院地図
(治水地形分類図)
(色別標高図)

[入手先](#) [国土地理院](#)

2. 現在の状況を知る！（川の防災情報）

大雨、洪水時に確認したい情報

- レーダ雨量（XRAIN）
 - 気象警報・注意報、土砂災害警戒情報
 - 川の水位情報（水位計[危機管理型]、河川カメラ）
 - 浸水の危険が高まっている河川
 - 強い降雨が観測されている観測所
 - 洪水予報、水位到達情報
 - ダム放流通知
 - 洪水・土砂キキクル（危険度分布）
 - 避難情報（市町村発表）
- など

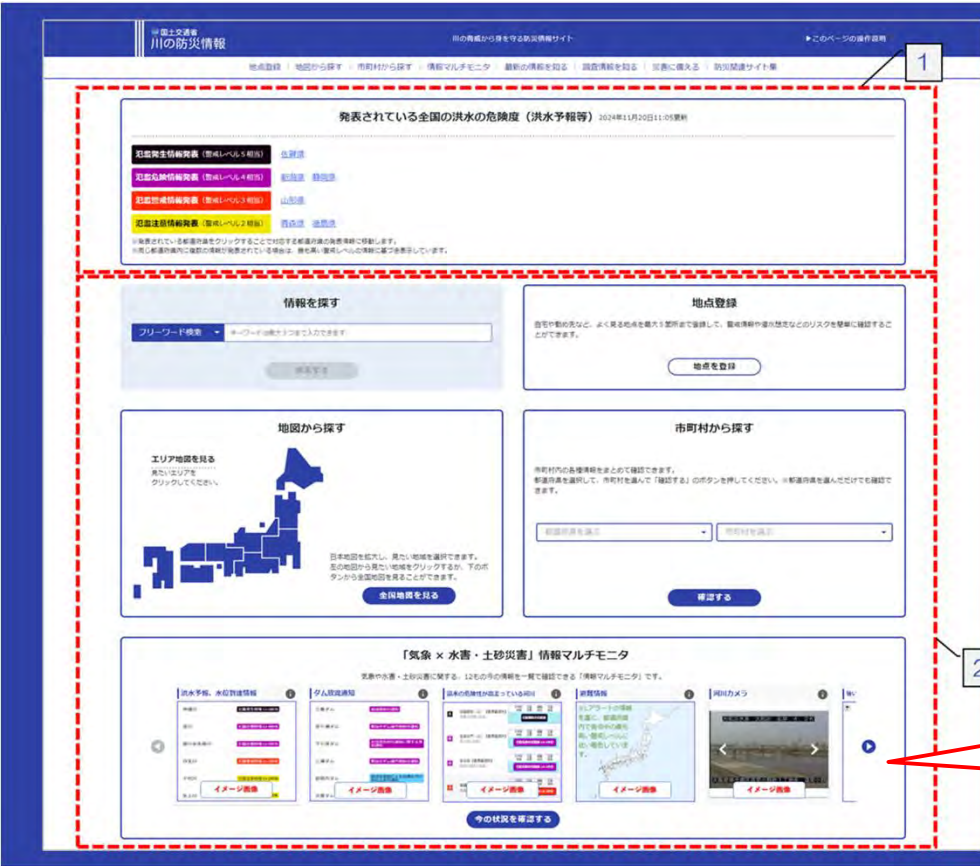


「川の防災情報」なら、全て見られる！

※ 更に地点登録すれば、ご自宅付近（市町村）の情報に絞れます！

2. 現在の状況を知る！（川の防災情報）

川の防災情報 トップ画面 ①



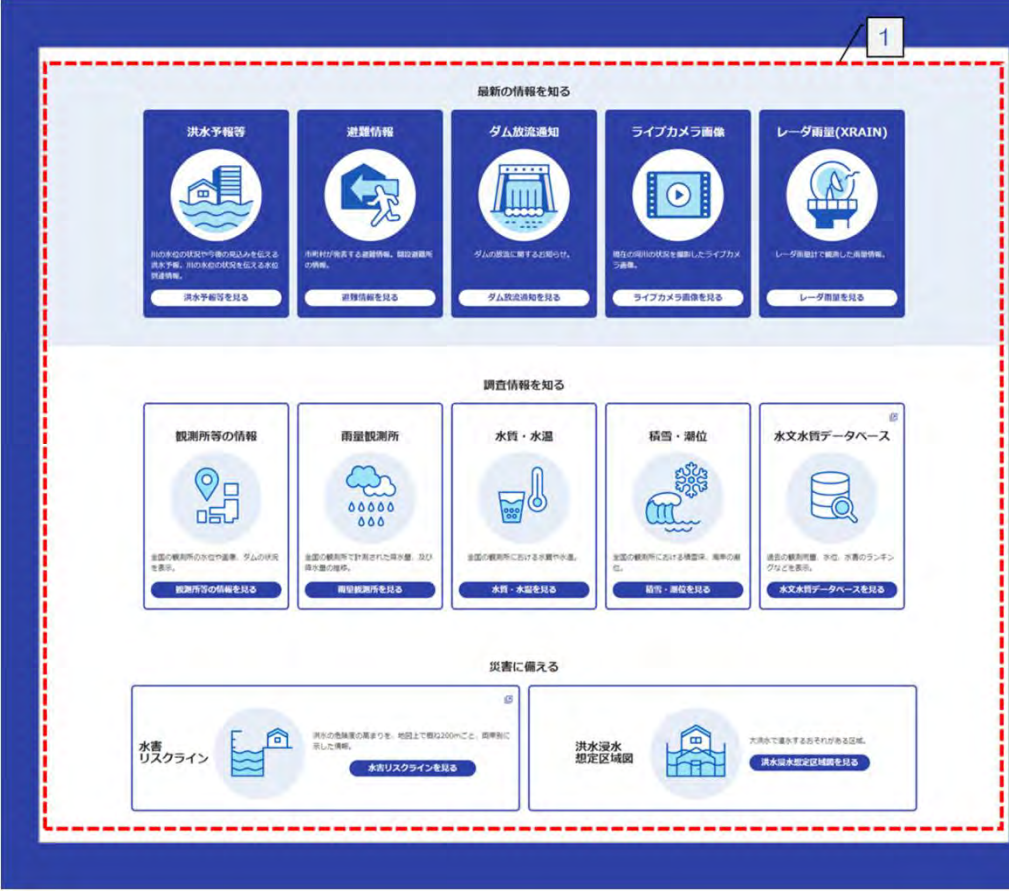
トップ画面では行政から発表されている防災情報、河川水位や雨量などの観測情報、各種お知らせや各自治体のハザードマップなど、目的に応じて必要な情報を探することができます。

- 1. 全国の洪水の危険度
現在の発表情報です。発令されているレベルごとに都道府県を表示します。
都道府県をクリックすることで対応する都道府県の発表情報に移動します。
- 2. 情報の探し方を選ぶ
キーワードによる観測所検索、登録地点情報の確認、地図上での情報確認、マルチモニタでの情報確認ができます。

情報マルチモニタ
が便利！

2. 現在の状況を知る！（川の防災情報）

川の防災情報 トップ画面 ②



トップ画面では行政から発表されている防災情報、河川水位や雨量などの観測情報、各種お知らせや各自治体のハザードマップなど、目的に応じて必要な情報を探すことができます。

■ 1. 知りたい情報から探す
最新の情報を知る、調査情報を知る、災害に備えるから選択して、自分が知りたい情報を探すことができます。枠をクリックすることで各情報を表示します。

2. 現在の状況を知る！（川の防災情報）

川の防災情報 トップ画面 ③

浸水ナビ

ハザードマップポータルサイト

1

■ 1. 他サイトの情報
他の防災関連ウェブサイトの一覧です。クリックすることで各サイトにアクセスできます。

水災害リスク情報にもアクセス可能！（※）

※ただし、「水害リスクマップ/多段階浸水想定区域図」へのリンクはありません。

川の防災情報（「気象 × 水害・土砂災害」情報マルチモニタ）

国土交通省 川の防災情報 “気象”×“水害・土砂災害” 情報マルチモニタ

地方別の選択が可能

地点の登録が可能

自動的に地点登録の市町村（周辺）の情報を抽出

金沢市の状況 気象・土砂災害

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 金沢市西念 地点登録

レーダ雨量計 (XRAIN)

気象警報・注意報 土砂災害警戒情報

河川カメラ

川の水位情報

- ・通常水位計
- ・危機管理型水位計
- ・河川カメラ情報 (CCTV、簡易型)

洪水の危険性が高まっている河川

強い降雨が観測されている雨量観測所

洪水予報の発表地域

ダムの放流通知

洪水キキクル (危険度分布)

土砂キキクル (危険度分布)

水害リスクライン

避難情報

※「気象警報・注意報、土砂災害警戒情報」「洪水キキクル（危険度分布）」「土砂キキクル（危険度分布）」は気象庁ウェブサイトへリンクしています。

※「川の水位情報」は危機管理型水位計運用協議会が運用するホームページへリンクしています。

※「アラート」は、市町村等が発令した避難指示などの災害関連情報を、一般財団法人マルチメディア振興センターが収集、メディア等に対し一斉に配信する災害情報共有システムです。

※掲載の情報は、無人観測所から送られてくるデータを観測後直ちに表示しているものが含まれており、機器故障等による異常値がそのまま表示されている可能性があります。他の水位情報、気象情報も併せて確認してください。

手取川・梯川流域タイムラインについて

令和6年度 手取川・梯川流域タイムラインの取組について

- 令和4年8月豪雨災害により、手取川・梯川流域全体で甚大な被害が発生し、逃げ遅れや車移動中の孤立、道路冠水により避難できなかった等、住民避難に関する課題が浮き彫りとなった。
- 従来の河川水位による基準に加え、雨量予測などによる早めの避難情報の発令の必要性や避難を促す情報発信について、自治体のみならず報道機関を含め、流域全体の関係機関が連携する必要性が生じた。
- 令和5年度から手取川・梯川流域タイムラインによって新たに「流域警戒ステージ」を設定する等、注意報・警報が発令される以前の段階で早期に流域全体で危機感を共有し、各機関において早めの防災行動を着手し、逃げ遅れゼロの取組を強化。

- ・ 令和6年度は、流域警戒ステージに14回移行（うち、ステージⅡに3回移行、ステージⅢはなし）。また、運用会議を合計4回開催。
- ・ 流域警戒ステージ移行時や運用会議開催の際、メールにて情報を共有。また今年度から移行後に概ね1回/日で情報提供を実施。

令和6年度 出水状況・警戒ステージ経過一覧（R7.3.14時点）

	日付	流域警戒ステージ	出水状況	備考
	5/28	—	梯川：水防団待機水位超過	基準を満たさず、流域警戒ステージへは移行せず
①	6/21～24	I、II		6/21運用会議、情報提供1回
②	6/27～7/11	I、II	手取川：水防団待機水位超過 梯川：水防団待機水位超過	情報提供14回
③	7/16～17	I		情報提供1回
④	7/20	I		情報提供1回
⑤	7/23～24	I		情報提供1回
⑥	7/28～31	I		情報提供4回
⑦	8/23～9/2	I、II		8/30運用会議、情報提供9回
⑧	9/14～9/16	I		情報提供2回
⑨	9/17～9/22	I		9/20運用会議、情報提供7回
⑩	10/6～10/8	I		情報提供1回
⑪	10/18～10/19	I		情報提供1回
⑫	10/28～11/3	I、IV	梯川：氾濫注意水位超過	10/31運用会議、情報提供3回
⑬	11/27～12/1	I		情報提供3回
⑭	12/6～12/8	I		情報提供2回

※ 6/30は運用会議を開催せず、ステージⅡに移行（資料送付のみ）

※ 9/20、10/31は運用会議を開催したが、予測降雨量が小さかったため、ステージⅡに移行せず

流域警戒ステージの情報提供メール

件名：【手取川・梯川流域タイムライン】流域タイムラインの情報提供について

手取川・梯川流域タイムライン関係機関 各位
関係機関 担当者各位
(本メールはBCCで送信しています)

9月22日8時現在の状況を情報提供します。

(連絡事項)

9月22日8時現在、「流域警戒ステージⅠ」に移行中です。

★石川県の加賀では、23日6時にかけて、早期注意情報（警報級の可能性）の大雨【中】が発表されています。このため、現在移行中の「流域警戒ステージⅠ」を「継続」しています。

★加賀では、22日夜速くにかけて土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

(気象概況)

前線上の山陰中には台風第14号から変わった温帯低気圧があって、東北東に進んでいます。この前線上の低気圧は、22日昼前には北陸地方を通過し、22日夜には日本の東へ進み、前線（本州付近）を南下する見込みです。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んでいるため、石川県では大気の状態が非常に不安定となっており、22日昼前にかけて雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨の降る所があるでしょう。

(雨の予想)

22日に予想される1時間降水量は多い所で、加賀 40ミリ

22日6時から23日6時までに予想される24時間降水量は多い所で、加賀 100ミリ

★今後、警戒ステージⅡに移行する可能性があります。また、降雨状況によっては警戒ステージⅡやⅢに移行せずに河川水位が上昇する場合があります。引き続き注意をお願いします。

今後の気象警報・注意報、気象情報に留意願います。

関係機関の皆様は、流域警戒ステージⅠに記載されている防災対応を実施してください。

金沢河川国道事務所 流域治水課 TEL：076-264-9910（直）

<====>

運用会議の開催状況



手取川・梯川 流域タイムラインの目的

【背景】

- 令和4年8月豪雨災害では手取川・梯川流域全体で甚大な被害が発生。
- 逃げ遅れや車移動中の孤立、道路冠水により避難できなかった等、住民避難に関する課題が浮き彫りとなった。
- 従来の河川水位による基準に加え、雨量予測などによる早めの避難情報の発令が必要。



流域タイムライン

- 「流域警戒ステージ」を新たに設定。
- 注意報・警報が発令される以前の段階で、早期に流域全体で危機感を共有。
- 各機関において早めの防災行動に着手。

※ 流域タイムラインは、市区町村が作成するタイムライン、マイ・タイムラインなどの世帯や地区毎に作成されるタイムラインなどと階層的かつ相互に連携して運用。

※ 国土交通省の防災業務計画において、避難情報に着目した水害対応タイムラインを複数の市町村を対象とした流域タイムラインに見直すこととなっており、本タイムラインも国土交通省防災業務計画に基づくものである。

流域タイムラインの概要

【対象とする災害】

台風接近・上陸、並びに前線停滞による「大雨」を対象

【流域警戒ステージ】

- 時期区分として「流域警戒ステージⅠ～Ⅳ」を設定。
- 流域警戒ステージⅠ～Ⅲでは、「台風進路予測、府県気象情報、台風説明会」（台風最接近の5～2日前）及び気象庁による予測降雨量（G S M、M S M）等に基づき、流域での危険度切迫を伝える情報を関係機関で共有し、早期の対応を実施。
- 流域警戒ステージⅣは、各機関が河川水位の上昇などにより、各機関の判断により従来の警戒レベルに基づく防災行動を実施。

※ 流域警戒ステージは、流域タイムライン構成機関のみで共有されるものであり、内閣府が定める「警戒レベル」とは異なるものである。

流域警戒ステージの移行

【発動・移行の判断】

- 金沢地方気象台からの降雨の見通し等により、金沢河川国道事務所と金沢地方気象台で調整。
- タイムライン参加機関からなる「流域タイムライン運用会議（以下「運用会議」という。）」を開催して判断。

【運用会議】

- 運用会議は、流域警戒ステージⅡ又はⅢへの移行の可能性がある場合において金沢地方気象台と金沢河川国道事務所が調整を行い、開催を判断する。
- TeamsによるＴＶ会議で実施。（金沢河川国道事務所からメールで送付する会議用URLより各機関がミーティングに参加する。）
- できるだけ短時間（30分以内）で終了し、以下について情報共有・検討を実施。
 - (1) 気象概況・予想の説明
 - (2) 河川への影響
 - (3) 治水ダム操作状況及び今後の見通し・利水ダムの事前放流状況等
 - (4) 流域警戒ステージ移行の判断

流域警戒ステージの移行の基準（目安）

区分	時期	移行基準
流域警戒ステージⅠ 【危険性に注意を向ける】	概ね3～5日	■台風：台風警戒区域に台風5～3日先予報円の一部が含まれ、かつ石川県の早期注意情報により警報級の可能性（以下、「警報級の可能性」とする。）が発表された時。（※運用会議は実施しない。） ■前線：前線の影響により警報級の可能性が発表された時。（※運用会議は実施しない。）
流域警戒ステージⅡ 【防災対応の方針を決定】	概ね2日前	■台風：台風説明会が開催された時、又は府県気象情報「石川県気象情報」（加賀）（以下、府県気象情報」という。）で48時間以内に24時間降水量が多いところで150mm程度の雨量が予測された時。 ■前線：大雨説明会が開催された時、又は府県気象情報で48時間以内に24時間降水量が多い所で150mm程度の雨量が予測された時。
流域警戒ステージⅢ 【防災対応を開始】	概ね1日前	■台風・前線共通 気象庁のメソモデル（MSM）による流域平均雨量予測（39時間先までの予測）を基に、手取川又は梯川のいずれかの流域において洪水氾濫が発生するおそれがある雨量が予測された場合。 「洪水氾濫が発生するおそれがある雨量」の目安 ・手取川 鶴来地点上流域：340mm/24時間 程度 ・梯川 小松大橋地点上流域：150mm/9時間 程度
流域警戒ステージⅣ 【防災対応を実施】	当日	■台風・前線共通 氾濫注意情報（警戒レベル2）の発表基準に到達した場合。 （※運用会議やステージ移行の通知は実施しない。）
流域警戒ステージ解除		■台風・前線共通 流域内の水位観測所の水位が水防団待機水位以下に低下し、今後、大雨の恐れがなくなった場合。（※運用会議は実施しない。）

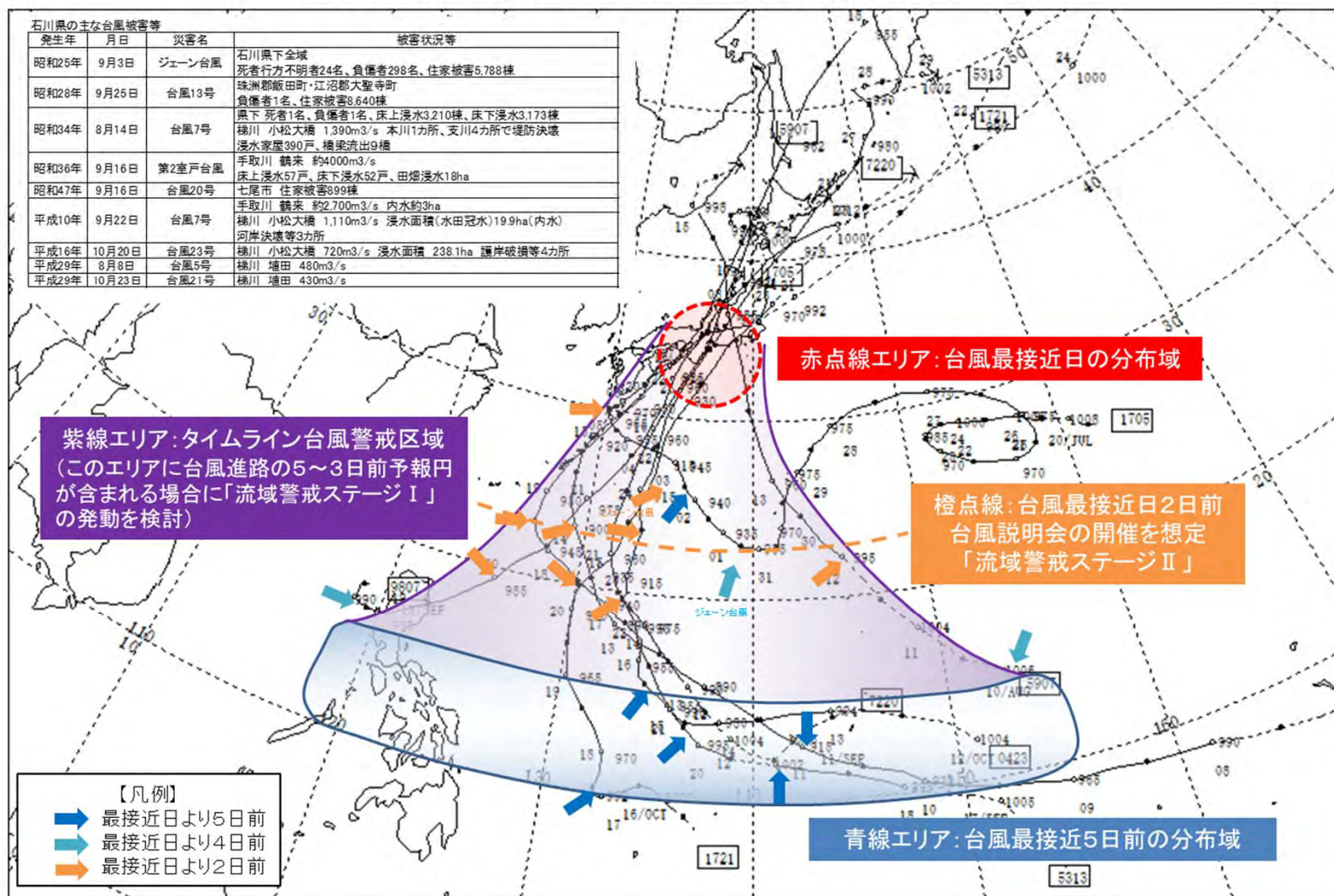
※ 本流域タイムラインは大規模洪水を対象に作成している。

※ 中小洪水（ピーク水位が氾濫注意水位程度）の場合、流域警戒ステージⅠ～Ⅲの基準に該当しないが流域警戒ステージⅣの基準に該当する場合がある。

「台風警戒区域」について

- 流域で過去に大きな影響をもたらした台風の進路経路図をもとに「台風警戒区域」を設定。
- 「台風警戒区域」に台風5～3日先予報円の一部分が含まれ、かつ石川県の早期注意情報により警報級の可能性が発表された場合に「流域警戒ステージⅠ」を検討。

手取川・梯川流域タイムライン 台風警報区域図(案)



流域警戒ステージ移行時の各機関の対応

防災行動目標

【流域警戒ステージⅠ】 ～災害の危険性に注意を向ける～

- 水害、土砂災害の危険性があることを組織内で共有する。
- 災害時の組織内の連絡体制・配備体制を確認する。
- 時間を要する防災対応については早めの準備を行う。
- 住民の避難について検討を行う。

【流域警戒ステージⅡ】 ～防災対応の方針を決定する～

- 水害、土砂災害の危険性が高まっていることを組織内で共有する。
- 災害時の組織内の連絡体制・配備体制の方針を決定する。
- 時間を要する防災対応については早めの行動を開始する。
- 住民の避難について方針を決定する。

【流域警戒ステージⅢ】 ～防災対応を開始する～

- 39 時間以内に水害、土砂災害の危険性が高まっていることを組織内で共有する。
- 災害時の組織内の連絡体制・配備体制を確立する。
- 防災対応について早めの行動を開始する。
- 住民の避難について準備を開始する。
- 住民への注意喚起を行う。

【流域警戒ステージⅣ】 ～防災対応を実施する～

- 各機関の計画に基づき水防・避難対応を実施する。
- 特に、避難対応については、キキクルによる危険度分布や、上流域の雨量や水位・カメラ画像情報を確認し、適切な避難情報発信及び避難所開設を実施する。



【各機関の防災行動】

- 流域警戒ステージ毎の各機関が行う「逃げ遅れゼロ」「被害の最小化」を目指す基本的な防災行動は、「手取川・梯川流域タイムライン総括表」による。
- 具体的な防災行動の内容については、機関毎の防災行動計画（タイムライン）等で決定して実施。

流域警戒ステージ移行時の各機関の対応（総括表）

手取川・梯川流域タイムライン総括表

※各機関の基本的な防災行動は、必要に応じて適宜修正・追加する。

令和7年4月時点版

各タイムラインステージの移行基準設定											
流域警戒タイムラインステージ			流域警戒ステージⅠ (台風・前線予測)		流域警戒ステージⅡ (台風・前線・雨雲予測)		流域警戒ステージⅢ (雨雲予測)		流域警戒ステージⅣ (水位上昇)		
発動/ 移行 基準	気象 情報	台風性	台風警戒区域に台風5〜3日先予報の中心が落ち、かつ、警戒級の可能性が発表された場合		台風説明会が開催された時、又は防災気象情報「石川県気象情報」(加賀)で、48時間以内の24時間降水量が多くなることで150mm程度の雨量が予想された場合		MSM39時間先流域平均雨量予測結果に各流域において洪水危険が発生するおそれがある雨量が予想された場合 ・手取川、観測地点上流域：340mm/24時間 程度 ・梯川、小松大橋地点上流域：150mm/9時間 程度		—		
		前線性	前線の影響により警戒級の可能性が発表された場合		大雨説明会が介された時、又は防災気象情報「石川県気象情報」(加賀)で、48時間以内の24時間降水量が多くなることで150mm程度の雨量が予想されたとき、運用会議を開催し、ステージ移行を判断		—		—		
	水位情報	—	—		—		—		—		
		—	—		—		—		—		
行動目標			災害の危険性に注意を向ける		防災対応の方針を決定する		防災対応を開始する		防災対応を実施する		
各タイムラインステージの行動内容											
警戒レベルの移行			警戒レベル1相当 (早期注意情報(警戒級の可能性))		警戒レベル1相当 (早期注意情報(警戒級の可能性))		警戒レベル1相当 (早期注意情報(警戒級の可能性))		警戒レベル2相当※ (災害注意情報)		
トータル・情報発信グループの行動目標			気象情報を収集し、台風・前線等の大雨による影響の可能性を伝える		大雨に対する警戒態勢を確立し、各機関の体制の切り替えを促す		警戒レベル3相当※ (災害警戒情報)		警戒レベル3相当※ (災害警戒情報)		
気象 情報を 発信 する	会沢地方気象台	◆トリガー情報の発表 ・早期注意情報(警戒級の可能性)の大雨で【中】以上 ■防災気象情報の発表 ・台風情報		◆トリガー情報の発表 ・府県気象情報の発表 ■防災気象情報の発表 ・台風情報 ・早期注意情報(警戒級の可能性)		◆トリガー情報の発表 ・大雨・洪水注意情報の発表 ・指定河川洪水予報(災害注意情報)の発表 ■防災気象情報の発表 ・台風情報 ・早期注意情報(警戒級の可能性) ・府県気象情報		◆トリガー情報の発表 ・大雨警戒(土砂災害・浸水害)の発表 ・洪水警戒(状況)の発表 ・指定河川洪水予報(災害警戒情報)の発表 ■防災気象情報の発表 ・台風情報 ・早期注意情報(警戒級の可能性) ・府県気象情報		◆トリガー情報の発表 ・土砂災害警戒情報の発表 ・指定河川洪水予報(災害警戒情報)の発表 ■防災気象情報の発表 ・台風情報 ・早期注意情報(警戒級の可能性) ・府県気象情報	
		■気象情報の収集・伝達 ・台風速報・関係、前線による類似洪水情報収集 ・流域警戒タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■事前放流の体系発令 ・流域タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■気象情報の収集・伝達 ・台風速報・関係、前線による類似洪水情報収集 ・流域警戒タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■防災体制(警戒)への移行 ・国管理区間での水位到達に伴う情報伝達 ・水防警戒(状況)発表 ・災害警戒情報発表(洪水予報河川) ・水位予測の提供(気象台、県、市町等) ■関係機関情報共有用WEB会議の立ち上げ(体系調整等)実施して連携		■防災体制(警戒)を組織 ・国管理区間での水位到達に伴う情報伝達 ・水防警戒(状況)発表 ・災害警戒情報発表(洪水予報河川) ・水位予測の提供(気象台、県、市町等) ■市町長へのホットライン ・予測水位による洪水規模の情報提供 ■Jアラートの放送	
会沢河川国道事務所		■気象情報の収集・伝達 ・台風速報・関係、前線による類似洪水情報収集 ・流域警戒タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■事前放流の体系発令 ・流域タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■気象情報の収集・伝達 ・台風速報・関係、前線による類似洪水情報収集 ・流域警戒タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■防災体制(非常)への移行 ・国管理区間での水位到達に伴う情報伝達 ・水防警戒(状況)発表 ・災害警戒情報発表(洪水予報河川) ・水位予測の提供(気象台、県、市町等) ■市町長へのホットライン ・予測水位による洪水規模の情報提供 ■Jアラートの放送		■防災体制(非常)を組織 ・国管理区間での水位到達に伴う情報伝達 ・水防警戒(状況)発表 ・災害警戒情報発表(洪水予報河川) ・水位予測の提供(気象台、県、市町等) ■市町長へのホットライン ・予測水位による洪水規模の情報提供 ■Jアラートの放送	
		■気象情報の収集・伝達 ・台風速報・関係、前線による類似洪水情報収集 ・流域警戒タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■事前放流の体系発令 ・流域タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■気象情報の収集・伝達 ・台風速報・関係、前線による類似洪水情報収集 ・流域警戒タイムラインの管理 ・運用会議開催のメール配信 ・運用会議開催のメール配信 ・流域警戒ステージ移行のメール配信 ・事前放流の情報収集・伝達		■防災体制(非常)への移行 ・国管理区間での水位到達に伴う情報伝達 ・水防警戒(状況)発表 ・災害警戒情報発表(洪水予報河川) ・水位予測の提供(気象台、県、市町等) ■市町長へのホットライン ・予測水位による洪水規模の情報提供 ■Jアラートの放送		■防災体制(非常)を組織 ・国管理区間での水位到達に伴う情報伝達 ・水防警戒(状況)発表 ・災害警戒情報発表(洪水予報河川) ・水位予測の提供(気象台、県、市町等) ■市町長へのホットライン ・予測水位による洪水規模の情報提供 ■Jアラートの放送	

タイムライン
ステージ毎に
各機関の基本的な
防災行動を整理

流域警戒ステージ移行の周知

- 流域警戒ステージ移行の周知は、流域タイムラインに参加する機関にメーリングリストを通じて行う。
- 移行時に周知する内容は、各段階における流域警戒ステージの通知のほか、台風規模や進路、前線の位置、予測される雨量等の情報を共有する。

【例】台風第〇号に伴う流域警戒ステージⅠへの移行

■本文

手取川・梯川流域タイムライン関係機関 各位

※本メールは、メーリングリストにて送信しています。

台風第〇号について、〇月〇日〇時〇分より「手取川・梯川流域タイムライン」の運用を開始し、「流域警戒ステージⅠ」に移行しました。

（解説）

〇日〇時、南鳥島近海の熱帯低気圧が台風第〇号になりました。台風は1時間におよそ25キロの速さで西へ進んでいます。台風は今後、日本の南海上を北西に進み、猛烈な強さに発達し、3日先以降、向きを東に変えて、東日本の広い範囲に影響する可能性があることから、流域警戒ステージⅠへの移行を決定しました。関係機関の皆さまは、流域警戒ステージⅠに記載されている防災対応を実施してください。

【例】台風第〇号に伴う流域警戒ステージⅡへの移行

■本文

手取川・梯川流域タイムライン関係機関 各位

※本メールは、メーリングリストにて送信しています。

台風第〇号について、運用会議で協議した結果、〇月〇日〇時〇分に、「流域警戒ステージⅡ」に移行しました。

（解説）

大型で非常に強い台風第〇号は、1時間におよそ25キロの速さで北北西へ進んでいます。台風は、日本の南を北北西へ進み、次第に進路を北東に変えて、非常に強い勢力を保ったまま、〇日夕方から〇日夜遅くにかけて、石川県に接近する恐れがあります。また、「台風第〇号に関する石川県気象情報第1号」が発表され石川県加賀地方で、48時間以内に24時間降水量が多いところで150ミリ程度の雨量が予想されていることから、流域警戒ステージⅡへの移行を決定しました。関係機関の皆さまは、流域警戒ステージⅡに記載されている防災対応を実施してください。

※ 参加機関との連絡は、メーリングリストによる情報発信のほか、緊急時には電話によって連絡するものとする。

※ メーリングリストに登録されている各機関のメールアドレスや緊急時に使用する電話番号、担当者の氏名は適宜更新する。

流域タイムライン参加機関

- ・ 当面「手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会」構成機関、「地域メディア連携協議会」関係者で構成
- ・ 運用を行いながら随時参加機関の拡大を検討。

区 分	機 関 名	
国	金沢河川国道事務所、金沢地方气象台、陸上自衛隊第14普通科連隊第2科	
県	本庁	危機監理室危機管理課、土木部河川課、土木部砂防課
	出先機関	石川土木総合事務所、南加賀土木総合事務所 赤瀬ダム管理事務所、大日川ダム管理事務所
市町	小松市、白山市、能美市、野々市市、川北町	
利水関係者	北陸電力（株）手取川水力センター、電源開発（株）九頭竜電力所手取川事務所	
道路管理者（橋梁・兼用道路関係）	金沢河川国道事務所、石川土木総合事務所、南加賀土木総合事務所、小松市、能美市、白山市、能美市、野々市市、川北町、中日本高速道路（株）金沢支社金沢保全サービスセンター	
公共交通機関	西日本旅客鉄道（株）、IRいしかわ鉄道(株)	
報道機関	地域メディア連携協議会 関係者	

【今後、拡大を検討する機関】

救出救助等 ：石川県警

公共交通機関：北陸鉄道(株)、北鉄白山バス(株)、北鉄加賀バス(株)

利水関係者 ：手取川七ヶ用水土地改良区、宮竹用水土地改良区、小松東部土地改良区、御茶用水土地改良区

ライフライン：北陸電力(株)石川支店、N T T西日本（株）金沢支店、（株）ドコモC S北陸

昨冬の降雪対応について

予防的通行規制区間 (26区間)

- 道路構造等起因して走行不能車両が発生しやすい区間を指定し、大雪時は予防的に通行止め・集中除雪を実施し、大規模な車両滞留を防止します。



復旧・復興を止めない除雪強化 ～能登地域冬期道路交通確保情報連絡本部の設立～

- ・令和6年11月21日に能登地域冬期道路交通確保情報連絡本部会議を設立。
- ・関係機関が得た情報の一元化を図り、能登地域の交通障害を未然に防ぐ体制を構築。

■設置趣旨

- 能登地域における復旧・復興を止めない雪害対応の連携強化を図るため、関係機関からなる「能登地域冬期道路交通確保情報連絡本部」を新たに設置。
- 除雪体制の強化を図り、大規模な交通渋滞、交通事故等の発生を未然に防ぐ。

■情報連絡本部役割

- 関係機関が得た情報(気象・交通・除雪・災害等)の一元化を図り、地域の交通障害を未然に防ぐ迅速な連絡調整・除雪体制を構築し復旧・復興を支援。
- 強化された除雪体制や適切な除雪情報等を地域住民へ提供。

関係機関が得た情報
(気象・交通・除雪・災害)

能登地域
冬期道路交通確保情報連絡本部
《情報の一元的収集・共有・調整・協議》

復旧・復興を止めない除雪体制の構築
適切な除雪情報等の提供等

能登地域情報連絡本部会議
(令和6年11月21日)



会議終了後のブリーフィング
(令和6年11月21日)



金沢河川国道事務所HPに
会議資料等を掲載



■構成機関

令和6年11月21日設立

- ・石川県
- ・輪島市、珠洲市、七尾市、穴水町、能登町、志賀町
- ・石川県警察本部
- ・気象庁金沢地方气象台
- ・国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所(事務局)、能登復興事務所
- ・自衛隊(オブザーバー)

関係機関が連携・協力し、奥能登へのアクセスルートを
冬期間も確保



復旧・復興を止めない除雪強化 ～応急復旧箇所の冬期走行の安全確保（１）～

- ・のと里山海道では、スタック車の発生や線形不良に起因する交通事故等を未然に防ぐために、遠赤外線を用いた融雪施設、定置式凍結防止剤散布装置の設置及び道路監視カメラを追加。

■遠赤外線を用いた融雪施設 （合計4箇所、35基設置）



復旧・復興を止めない除雪強化 ～応急復旧箇所の冬期走行の安全確保（４）～

- ・石川県、金沢河川国道事務所、能登復興事務所で連携し、冬期走行の安全性確保に向けた集中工事を実施。

■急カーブの対策(10.3kp)

【対策前】

【対策後(イメージ)】



■急勾配の対策(1.0kp)

【対策前】

【対策後(R6.12.13撮影)】



復旧・復興を止めない除雪強化

～予防的通行規制区間の設定～

- 今年度、直轄権限代行区間のうち、左図の赤色で示した区間を新たに予防的通行規制区間に設定。予防的通行規制区間のうち、のと里山海道(徳田大津IC～穴水IC)の予防的通行止めを計4回実施。
- 大雪時には、情報連絡本部(WEB方式)を合計41回開催し、石川県、市町、警察等と情報共有。
- 通行規制や並行する道路の除雪、更には、関係各機関では、各機関で運用している広報ツールを活用して、道路利用者のみならず、地域にお住まいの方へも情報提供。

予防的通行止め 規制状況



1/9規制状況(のと里山海道 徳田大津IC)

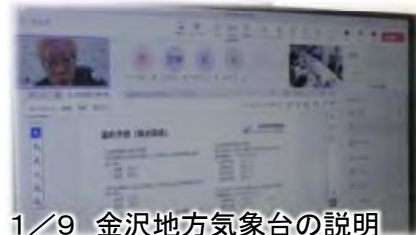


1/9規制状況(穴水IC)

情報連絡本部会議(WEB方式)



1/9 金沢河川国道事務所
道路情報管理室



1/9 金沢地方気象台の説明

各機関の広報

石川県LINE

令和7年1月9日にのと里
山海道通行止め情報を広報



輪島市 HP

令和7年1月10日に水道管の凍結防止対策について広報



復旧・復興を止めない除雪強化 ～災害対策基本法に基づく車両移動訓練～

・令和6年11月25日に、のと里山海道(別所岳SA)で、3機関(石川県・一般社団法人日本自動車連盟石川支部(JAF)・金沢河川国道事務所)と、合同で車両移動訓練を実施。



参加者:27名

災害対策基本法に基づく車両移動時の確認訓練



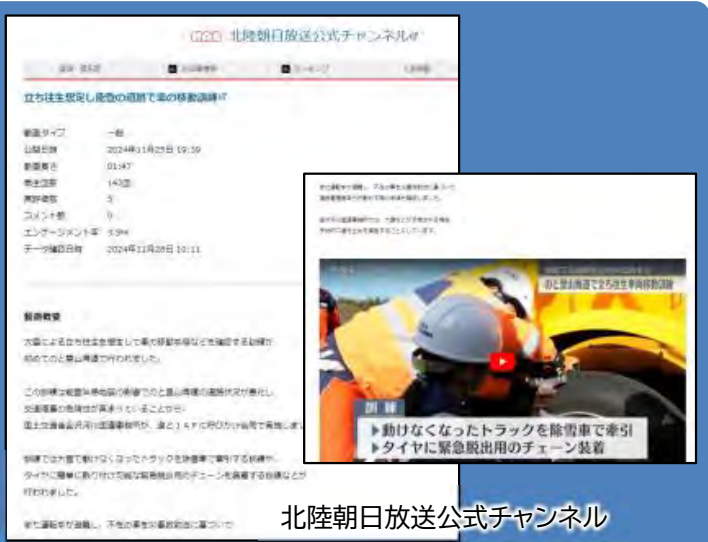
JAFとの合同での車両移動訓練



JAF講師の指導による簡易チェーン
(2種類)設置訓練



車両移動装置を使用時の車両移動訓練



復旧・復興を止めない除雪強化 ～雪害情報伝達訓練～

・令和6年12月3日に、国道8号石川福井県境区間及びのと里山海道において大雪による大規模な車両滞留の発生を想定し、情報連絡本部構成機関と雪害情報伝達訓練を実施。

■令和6年12月3日 情報伝達訓練の様子

参加機関：13機関
参加者：27名



訓練状況(支部全景)



訓練状況(支部全景)



情報連絡本部
(参集による参加機関)



WEB会議による関係機関との調整・情報共有



NHKニュース(令和6年12月3日18:10頃)

復旧・復興を止めない除雪強化 ～関係機関で連携・協力して広報活動を実施(1)～

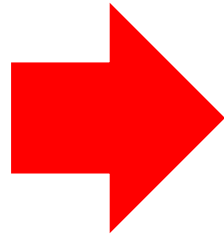
- ・大雪による広範囲の交通障害発生のおそれがある場合に、記者会見を行い、ドライバーや地域の方々に対して出控えを呼びかけて注意喚起を実施。

■記者会見後マスコミ各社で報道された事例



R7.2.3 大雪に関する記者会見

記者会見後に北陸朝日放送、テレビ金沢、北国新聞で報道された。



2月3日北陸朝日放送 公式YouTube

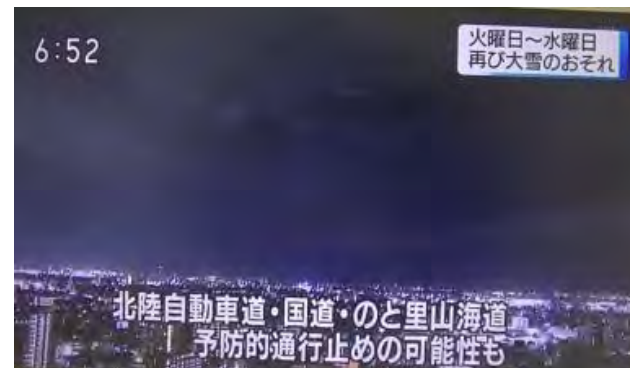
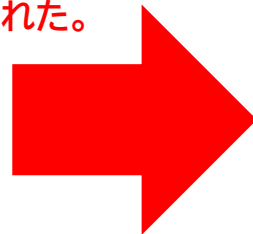


2月3日テレビ金沢 公式YouTube



R7.2.16 大雪に関する記者会見

記者会見後にNHK、テレビ金沢で報道された。



2月16日NHKニュース
報道



2月16日テレビ金沢
ニュース報道

復旧・復興を止めない除雪強化 ～関係機関で連携・協力して広報活動を実施(2)～

- 交通障害発生時は、関係機関が連携・協力して、ドライバーや地域の方々へ情報発信を実施。

■金沢河川国道事務所では記者発表のほか、X(旧Twitter)を用いて、大雪による通行止め情報や除雪状況など情報提供を実施。

金沢河川国道事務所 X(旧Twitter)の一例

国土交通省 金沢河川国道事務所 道路情報室
@KanazawaBousai

【本日(1/29)21時にのと里山海道の通行止めを行います】
のと里山海道(徳田大津IC～穴水IC)において、集中除雪作業を行うため、本日(1/29)21時から全面通行止めを実施します。
※降雪予測が早まったため、通行止めを21時開始とします。
通行止め等の最新情報は、当所XやHP等をご確認ください。



午後5:38・2025年1月29日・4.8万 件の表示

山 1 山のエンゲージメントを表示

1 79 105 1

国土交通省 金沢河川国道事務所 道路情報室
@KanazawaBousai

【大雪警報 発令】
2月4日12時47分に石川県の加賀地区に大雪警報が発令されました。付近を走行する方は、十分に注意をしてください。また、不要不急の外出はお控えください。
#大雪警報



午後1:18・2025年2月4日・18.7万 件の表示

山 1 山のエンゲージメントを表示

4 355 535 15

国土交通省 金沢河川国道事務所 道路情報室
@KanazawaBousai

【のと里山海道(徳田大津IC～穴水IC)の#通行止め実施中】
のと里山海道(徳田大津IC～穴水IC)は集中除雪のため、本日8時より通行止めを行っています。
ご不便ご迷惑をおかけしますが、ご協力お願いいたします。
道路状況の#ライブ配信中
youtube.com/live/B4mtCE8e3...



午前9:08・2025年2月22日・7,167 件の表示

山 1 山のエンゲージメントを表示

1 42 98 1



アカウント

北陸雪害対策技術センター @hrrsetsugai
羽越河川国道事務所 @mlit_uetsu
新潟国道事務所 @mlit_niikoku
長岡国道事務所 @mlit_chokoku

高田河川国道事務所 @mlit_takada
富山河川国道事務所 @mlit_toyama
金沢河川国道事務所 @KanazawaBousai

復旧・復興を止めない除雪強化 ～自治体道路除雪支援(小型除雪機貸し出し)～

- ・国土交通省では、令和4年度より地方整備局に配備する小型除雪機等の増強及び地域への無償貸し出しによる自治体道路除雪への支援を実施。
- ・今冬は、地震等災害の影響を踏まえ、他の地方整備局が配備する小型除雪機も含め、自治体への道路除雪支援として必要な台数を確保し無償貸し出しを実施。

■能登地域の自治体への小型除雪機貸出回数

貸出先	台数	備考
輪島市	24台	北陸地整 13台、関東地整 8台 中部地整 1台、中国地整 2台
珠洲市	5台	北陸地整 5台
穴水町	5台	北陸地整 5台
志賀町	1台	北陸地整 1台



R6.12.11 小型除雪機搬入状況(輪島市)

■小型除雪機の概要

全 長：2.54m
全 幅：1.10m
最大除雪量：137t/h
投雪距離：0～25m
最大除雪幅：1.10m
最大除雪高：0.68m



小型除雪機搬入状況(ハンドガイド式)



令和7年2月 小型除雪機使用状況(穴水町梶尾地内、滝又集落)



降雪対応(北陸道・国道8号通行止め 令和7年2月7日～8日)

- 視程不良により、北陸道(金沢森本～富山)を2月7日22時20分に通行止め。2月8日0時に金沢森本→金沢西に延伸。2月9日午前7時に通行止めを解除した。
- 2月7日23時に北陸道に並行する国道8号(舟橋～県境)・国道304号・県道27号(金沢井波線)も通行止めにした。国道8号は2月8日午前2時に通行止めを解除し、国道304号・県道27号(金沢井波線)は2月8日午前7時に通行止めを解除した。
- 2月7日20時42分に石川県能登南部で顕著な大雪情報が発表された。のと里山海道(徳田大津～穴水)を2月7日22時20分に通行止めにした。集中除雪を行い、2月8日午前2時30分に通行止めを解除した。
- 2月8日午前0時25分に県内5放送局へCCTVライブ映像を配信して、併せて、金沢河川国道事務所YouTubeライブ配信も行った。



2/7 20時42分石川県能登地方に顕著な大雪に関する情報が発表

【大雪に厳重警戒】新潟と石川県能登南部に「顕著な大雪に関する情報」8日朝まで強い雪続く見込み 記録的な大雪で大規模な交通障害などに警戒 北日本から西日本は9日にかけて大雪に【雪の最新シミュレーション 8日午前0時更新】

令和7年2月8日金沢河川国道事務所YouTubeライブ配信
石川県内CCTVを10秒間隔でスクロール配信(穴水・県境九折・大田・山上郷大橋・東山高架橋・牛の谷)

石川県穴水町 穴水JCT

石川県津幡町 倉見 岩崎T-N交点

石川県能登町 大田

石川県能登町 山上郷大橋

石川県能登町 東山高架橋

石川県能登町 牛の谷

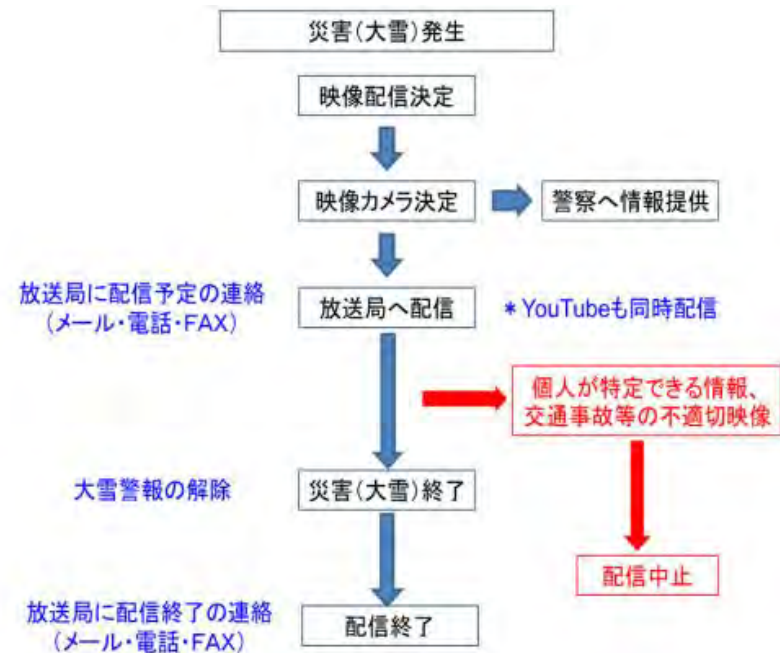


大雪時の道路CCTV映像配信

- 目的
大雪時において金沢河川国道事務所が有する映像情報を、放送局に提供し、放送局が提供された映像を元に放送等に活用し、道路利用者に対して道路の路面状況等の情報を伝えることにより、広域迂回や出控え等に役立てる事を目的とする。併せてYouTubeに同様の映像を配信する。
- 提供する情報
通行止めの記者発表するような大雪時に配信
(HPで公開している箇所の北陸地整CCTVカメラ情報)
ただし、事件、事故、救出活動など個人情報that認知できるものは配信しない
- 覚書 締結(映像情報の提供並びに放送等の試行実施について)
令和5年12月にNHK、北陸放送、石川テレビ、テレビ金沢、北陸朝日放送の5局と覚書を締結
- これまでの配信実績
令和7年2月4日(火)～2月5日(水)
令和7年2月8日(土)、令和7年2月21日(金)～22日(土)

令和7年2月8日金沢河川国道事務所YouTubeライブ配信
石川県内道路CCTVを10秒間隔でスクロール配信(穴水・県境九折・大田・山上郷大橋・東山高架橋・牛の谷)

大雪発生から配信までの流れ



大雨による道路の通行止について (事前通行規制区間)

○ 国道8号、157号、159号、160号、470号の5路線、合計206.2kmを管理



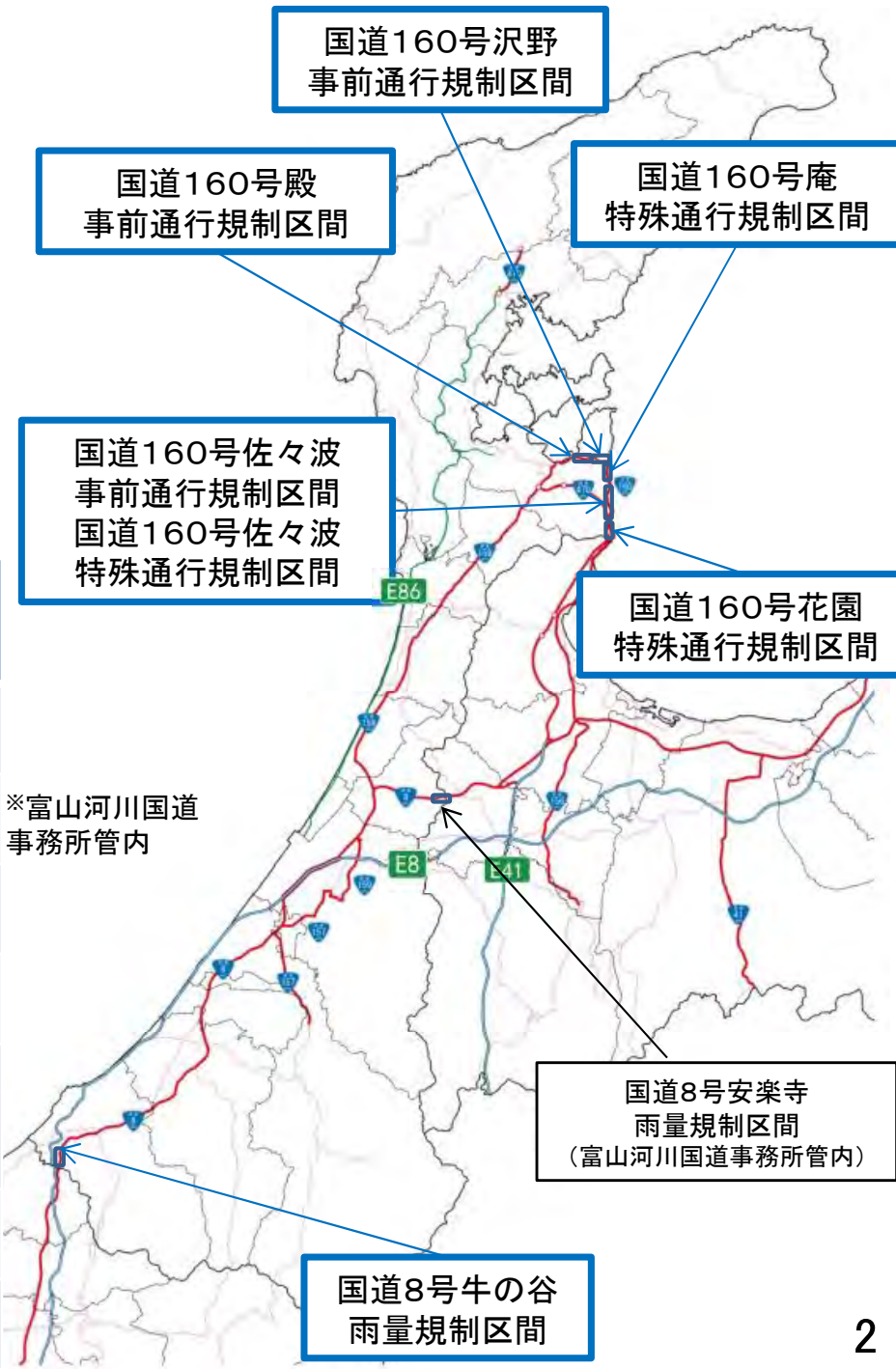
管理延長(令和7年4月1日現在)

■	・加賀国道維持出張所
	8号 48.8km 157号 16.1km
■	・能登国道維持出張所
	159号 47.9km 160号 19.1km 470号 25.3km
	・金沢国道維持出張所
	8号 29.4km 157号 5.1km 159号 14.5km

<管内合計> 206.2km

- 事前通行規制区間とは大雨や台風による土砂崩れや落石等のおそれがある箇所について、過去の記録などを元にそれぞれの基準等を定め、災害が発生する前に「通行止」などの規制を実施する区間
- 金沢河川国道事務所関連の事前通行規制(特殊通行規制含む)区間は2路線7区間(うち1区間は富山河川国道事務所管内)

路線名	箇所名	区間	延長	規制条件	通行止回数 過去5年 (R2～R6)
8	牛の谷	加賀市熊坂町庄司谷～ 加賀市熊坂町北原	2.0km	連続雨量180mm	0回
8	安楽寺	富山県小矢部市安楽寺～ 石川県津幡町九折※	1.6km	連続雨量180mm	1回(R5)
160	殿	七尾市大田町～ 七尾市沢野町	2.5km	連続雨量160mm	0回
160	沢野	七尾市沢野町～ 七尾市庵町	2.2km	連続雨量160mm	0回
160	佐々波	七尾市虫崎町～ 七尾市花園町	4.8km	・連続雨量160mm ・越波の発生が 予想される時	0回
160	庵	七尾市庵町	1.5km	越波の発生が 予想される時	0回
160	花園	七尾市花園町～ 七尾市大泊町	3.0km	越波の発生が 予想される時	0回



○ 記者発表FAXと同様の内容を事務所ホームページに掲載

【タイミング】
◆記者発表時

ポイント: 災害対応状況等を随時更新

緊急災害情報としてHP上部に表示

Xでも情報を発信



【タイミング】

◆緊急情報発表時、通行止め開始時、通行止め解除時 など

金沢河川国道事務所のXアカウントにて、即時性の高い情報を提供。

記者発表以外の道路情報も発信！

「フォロー」、「リポスト」をお願いします！

Xでは道路状況の画像を積極的に発信予定！
「国土交通省 金沢河川国道事務所 X」のクレジットを入れて使用可能！

Xでの情報提供の一例

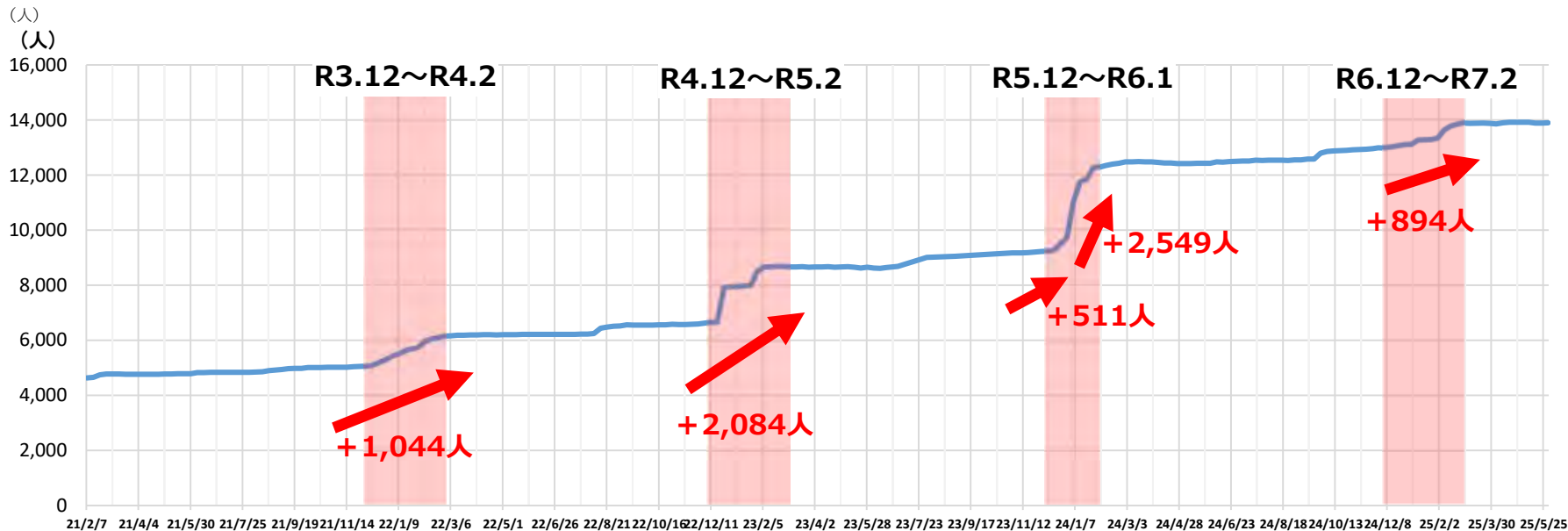


X
アカウント

北陸雪害対策技術センター @hrrsetsugai
羽越河川国道事務所 @mlit_uetsu
新潟国道事務所 @mlit_niikoku
長岡国道事務所 @mlit_chokoku

高田河川国道事務所 @mlit_takada
富山河川国道事務所 @mlit_toyama
金沢河川国道事務所 @KanazawaBousai

- 冬期(12月～2月)にフォロワー数が増加傾向にある。
- 令和7年度2月は大雪の影響もあり、1ヶ月で556人増加した。
- 今年度冬期以外では、令和6年9月に1ヶ月で243人増加しているが、能登半島豪雨の影響と考えられる。
- ⇒災害の発生や発生の可能性が高まるとアカウントの注目度が上がり、フォロワーの増加につながると推測される。



<令和4年度>	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3
フォロワー数	6,202	6,223	6,215	6,226	6,480	6,552	6,569	6,588	7,918	8,477	8,672	8,654
前月からの増加数	+15	+21	-8	+11	+254	+72	+17	+19	+1,330	+559	+195	-18
<令和5年度>	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
フォロワー数	8,654	8,654	8,687	9,016	9,053	9,117	9,171	9,203	9,714	12,263	12,434	12,486
前月からの増加数	0	0	+33	+329	+37	+64	+54	+32	+511	+2,549	+171	+52
<令和6年度>	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
フォロワー数	12,428	12,429	12,508	12,539	12,552	12,795	12,902	12,990	13,095	13,328	13,884	13,873
前月からの増加数	+15	+1	+79	+38	+13	+243	+109	+88	+105	+233	+556	-11
<令和7年度>	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R7.1	R7.2	R7.3
フォロワー数	13,913	13,901										
前月からの増加数	+24	-12										

- みちナビ石川では、県内主要道路の情報を提供
- 冬期(11月～3月)には、石川県・金沢市・NEXCOが管理する道路ライブ映像も閲覧可能



ポイント: 直轄国道のライブ映像の画像は、
「国土交通省 金沢河川国道事務所」の
クレジットをつければ利用可能(HP上で保存可能)

道路状況ライブ映像

○ 金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HP

道路

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

金沢河川国道事務所HPの道路情報提供システムにて、事前通行規制区間の現在雨量を確認

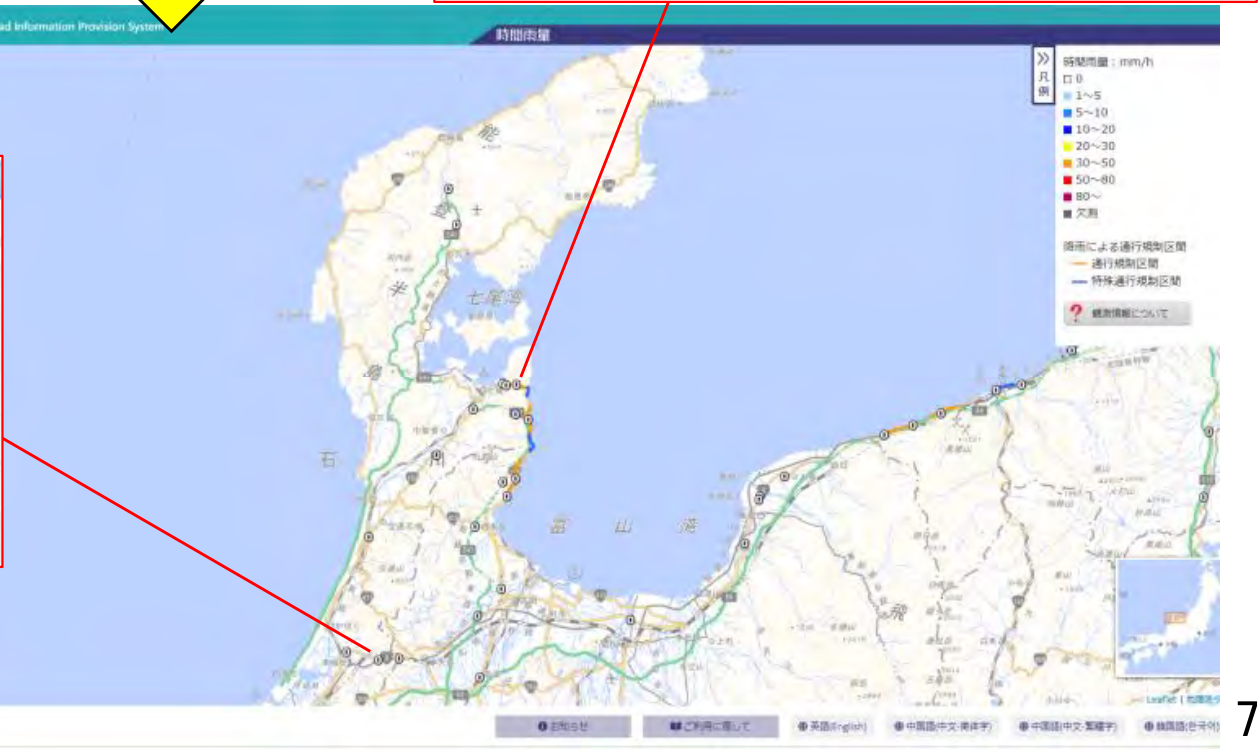
気象情報詳細

観測所名称：小矢部 | 地名：富山県小矢部市安楽寺

2025年05月21日 17時10分

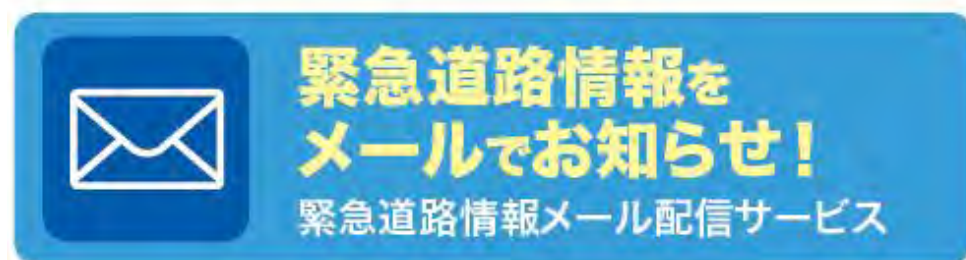
時間雨量	0mm/h	路面状態	-
連続雨量	0mm	路温	-
風向き	-	積雪深	-
平均風速	-	時間降雪量	-
瞬間風速	-	視程	-
気温	-		

道路情報提供システム



緊急道路情報メール配信サービス(ほっクリック)

- 概要 : 新潟県、富山県、石川県の災害による通行止めなどをメールでお知らせするシステム
提供内容 : 災害による通行規制(事故等)、大雨による事前通行規制の情報
提供路線 : (新潟県・富山県・石川県)の国土交通省が管理する国道(直轄国道)
[新潟県] 国道7号、8号、17号、18号、49号、113号、116号
[富山県] 国道8号、41号、156号、160号、470号
[石川県] 国道8号、157号、159号、160号、470号



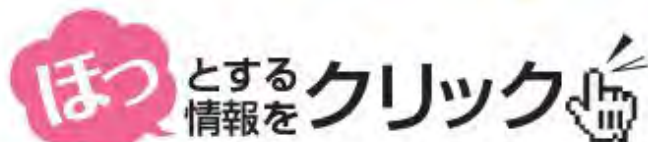
規制情報や気象情報などをメールでお届けします。
備えとしてお役立てください。

登録
無料

災害により
通行止め

降雪で
登坂不能車が
発生

大型車
タイヤチェーン
必要 など...



登録はこちら!



hoclick@hrr.milt.go.jp

受信メール(例)

2024年7月24日 15:40

北陸地方整備局道路情報

気象条件による通行止め(1箇所)
国道470号 上下(石川県輪島市三井町～石川県鳳珠郡穴水町)間 気象条件

規制雨量に達した地点はありません。

詳細はこちら(下記アドレスの有効期限は配信日より31日間です。)

<https://www4.hrr.mlit.go.jp/michi?u=h483FoiPO5wpmP9B07DXU0L46XSaQvsWxo1qf1DFCd4xwmYa8OmOlj&m=1>

令和6年度 第1回 地域メディア連携協議会

住民の理解と自らの行動につなげるための
情報発信についてメディア機関と共有・連携

近年の温暖化による災害の激甚化、頻発化が顕著となっている中で、国としても災害から国民のいのちと暮らしをまもるための防災減災、そして国土強靱化のための5か年加速化計画を進めています。このような対策とあわせて、地域のリスク情報などを関係機関やメディアとの情報共有を通じて、住民等への情報伝達を行い、速やかな行動に結びつけていただくため情報提供と意見交換を行いました。



第1回 地域メディア連携協議会の概要

- 日時 令和6年6月13日(木) 10:00～11:30
- 場所 金沢河川国道事務所 2階会議室(Web会議併用)
- 参加団体 【行政機関】
金沢河川国道事務所(事務局)
石川県、金沢地方气象台
- 【メディア機関】
石川テレビ放送、北陸放送、テレビ金沢、
あさがおテレビ、加賀ケーブル、北國新聞社
- 議事次第・情報提供
 - (1) 金沢地方气象台
 - ・3か月予報と防災気象情報の変更点について
 - (2) 金沢河川国道事務所
 - ・洪水についての基礎知識
 - ・手取川梯川流域タイムラインについて
 - ・昨冬の降雪対応について
 - ・大雨による道路の通行止めについて
 - (3) その他(現地視察会について)

○意見交換

各機関からの主な意見

- ・流域ステージの運用で、ステージ2に移行してからが長い場合があったので、改善できるよう検討して欲しい。
- ・現地視察会は取材機会があると参加しやすい。
- ・令和6年1月の大地震を受け、従来のハザードマップの見直し状況を教えて欲しい。
- ・「越水」と「溢水」は、どちらも「氾濫」として表現可能か。
- ・気象情報の量的予報で幅のない表現へ変更したことは画期的。



令和6年度 地域メディア連携協議会 現地視察会

～「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」における 流域治水の取組について～

「地域メディア連携協議会」の取り組みの一つとして、メディアの皆さんに梯川で進めている流域治水対策について理解を深めていただくことで、地域特性を踏まえたより切迫感のある情報発信につなげるとともに、地域メディアとの連携強化を図ることを目的として、現地視察会を開催しました。



↑ 九竜橋川排水機場(小松市)での視察

令和6年度 現地視察会の概要

- 日 時 令和6年8月27日(火) 9:30～11:30
- 場 所 梯川水系緊急治水対策プロジェクト整備箇所
- 参加団体
 - 【メディア機関】 石川テレビ放送、テレビ金沢
 - 【行政機関】 金沢河川国道事務所、石川県、小松市
- 視察箇所
 - ①【小松市】 九竜橋川排水機場(ポンプ増強)
 - ②【石川県】 今江潟排水機場(木場潟事前排水)
 - ③【国交省】 梯川左岸7.2K付近
(梯川引堤、河道掘削、橋梁架替)

参加メディアからの主な意見

- ・実際に現地を見て、その場で説明してもらうことができて、大変勉強になった。



← 今江潟排水機場(石川県)での視察



梯川(国交省)での視察 →